

## 再 評 価 書

事業名	一般国道422号八知山拡幅		事業区分	道路事業	室名	道路建設課 (松阪建設事務所)
事業概要	工 期 (下段：前回)	H7年～H28年	全体事業費 (下段：前回)	2,010百万円 (負担率：国5.5、県4.5)		
		H7年～H25年		2,010百万円 (負担率：国5.5、県4.5)		
事業目的及び内容						
<p>■当該路線の状況</p> <p>一般国道422号は、滋賀県大津市を起点とし、三重県内を南北に縦断し北牟婁郡紀北町に至る延長125kmの道路です。</p> <p>当該路線は、大台町大杉地区から、宮川の左岸沿いに位置し、県道大台宮川線と一体に、大台町役場宮川総合支所、宮川小中学校、警察・消防、スーパーなどの生活関連施設や医療機関を結ぶ道路であり、同地区の住民にとって生活に欠かすことのできない重要な道路です。</p> <p>しかし、大台町滝谷地内の八知山トンネルは、坑口部で崩落の危険性があることから、平成10年2月から通行止めとなっており、利用者は対岸の町道へ迂回しています。また、この町道は、道幅が狭いため円滑な交互通行ができない状況です。</p> <p>また、平成16年9月に来襲した台風21号の豪雨により、迂回路のない区間が被災しました。この災害により、大台町大杉地区は、8日間に亘り孤立し、生活や復旧活動に多大な支障をきたしました。</p>						
<p>■事業目的</p> <p>通行止区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、代替性をもった道路網の構築を図ります。</p>						
<p>■事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画期間 22年間 (平成7年度～平成28年度)</li> <li>・全体事業費 2,010百万円 (工事費：1,944百万円、用地費：66百万円)</li> <li>・全体延長 L=850m (起点) 多気郡大台町滝谷～ (終点) 多気郡大台町滝谷</li> <li>・幅員 W=5.5(7.0)m</li> <li>・主要構造物 トンネル工 1本 橋梁工 1橋</li> </ul>						
事業主体の再評価結果						
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>平成22年度に再評価を実施後、一定期間(5年)を経過し、事業継続中であるため、三重県公共事業評価実施要綱第2条(3)に基づき再評価を行いました。</p>						
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>2-1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成26年度末の事業進捗率は、50% (工事48%、用地100%) となっています。</li> <li>② 用地取得に期間を要していましたが、平成25年1月に全線用地取得を完了いたしました。</li> <li>③ これまでに起点側260mを供用しています。</li> <li>④ 用地取得を完了し、平成26年度に橋梁工事を完成し、同年からトンネル工事を行っています。</li> </ul> <p>2-2 今後の見込み</p> <p>平成28年度的全線供用に向け事業を推進します。</p>						
<p>3 事業を巡る社会経済状況等の変化</p> <p>当該路線は、大台町役場宮川総合支所、宮川小中学校、警察・消防、スーパーなどの生活関連施設や医療機関を結ぶ道路であり、同地区の住民にとっては、生活に欠かすことのできない重要な道路であることから、当該事業の必要性に変化はありません。</p> <p>平成26年4月に大杉谷登山歩道が約10年ぶりに全線供用開始をしました。また、尾鷲側からのアクセスとして平成16年度の災害により通行止めとなっている県道大杉谷海山線も平成28年度の供用開始を予定しています。これにより、キャンプ場や大杉谷溪谷の登山道等、大杉地区の自然豊かな観光資源へのアクセス性が向上し、大台町への観光客の増加が期待されています。当該道路の整備により、これらの観光地への利便性が一層向上することとなり、観光産業の支援に繋がるものと期待されています。</p>						

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元の意向の変化等

4-1 費用対効果分析

○事業区間全体の費用対効果分析の結果は

走行時間短縮便益	23.3億円
走行経費減少便益	1.6億円
交通事故減少便益	0.1億円
総便益費	25.0億円
総費用	23.6億円

費用便益比は、「1.1」となります。

4-2 その他の効果

○住民の安心な暮らしの確保

通行止となっている未改良区間を整備し、災害時の孤立化の防止、迅速な救急・消防活動が可能となり、住民の安心な暮らしを確保します。

○観光産業の支援

大台山系への観光客誘致が期待されます。

4-3 地元の意向

三重南北縦貫道路建設促進期成同盟会（津市、松阪市、伊賀市、大台町、紀北町）から、「近年頻発する災害は、住民の生活にとって重大な影響を与えており、道路整備が立ち後れている中山間地域にとりましては災害時の緊急輸送路としても道路整備は緊急の課題である。」として、当該事業の早期完成を強く要望されています。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減の可能性

トンネル照明は、器具の技術が向上しており、最新の照明器具の導入を検討し、視認性や安全性を確認しながら導入を検討し、コスト縮減に努めます。

5-2 代替案

事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。

再評価の経緯

当事業は、平成7年度に事業着手し、これまで平成17年度と平成22年度に再評価を実施しています。

平成22年度の再評価においては、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承されています。ただし、次の点について意見をいただいています。

- ① 残事業の早期完成にむけて、計画的で効率的な事業執行を求めるものである。
- ② 交通量推計について、より現実的でわかりやすい説明をされたい。

事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えています。